



三浦一族の家紋「三つ引き両」

衣笠地運協 かわらばん

令和 5 年 1 月 27 日

第 18 号

発行 衣笠地域運営協議会
事務局 衣笠行政センター
046-853-1611

●ごあいさつ●

衣笠地域運営協議会 会長 日比野 勝治



新春を言祝ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

衣笠地域の皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

衣笠地域運営協議会の設立時から長きにわたり会長職を務めた島崎竹司前会長に敬意を表しますとともに、令和 4 年から同協議会会長を受け継ぎ、役員と一丸となりこの重責を全うすべく決意も新たにしているところです。

昨年も各イベントが中止、延期となり、大変な時代になっていますが、「止まない雨はない」の精神で皆さまとともに頑張りたいと思います。

「衣笠地域運営協議会」は平成 24 年 7 月に衣笠の特性や実情に合った魅力あるまちづくりの実現に向けて設立しました。

衣笠地域のさらなる発展のため、地域のことは地域で考え、自分たちで解決していくための協議会です。

地域のために、時間の許す限り活動を進めてまいりますので、楽しく盛り上げるお力添えを頂きますよう、よろしくお願いいたします。



日比野勝治会長



●主な活動報告●

【防災に関する活動】

□令和 3 年度視察研修のレポート

神奈川県総合防災センター（厚木市）は、地震や風水害などの災害体験ができる施設です。この施設を視察した委員の感想レポートです。

- ・ 類似体験を通して、地震の揺れや風の強さを感じた。
- ・ 実際に災害が発生した時の被害想定や避難対応などを事前に考えておく必要があると感じた。
- ・ 人命救助体験を通して、自主防災リーダーの役割はとても重要だと実感した。
- ・ 支援が必要な人や支援者などが記載された災害時住民支え合いマップは実際に災害が発生した時に役立つもので良いと感じた。
- ・ 今回の研修で経験したことを伝えていきたい、活かしていきたいと感じた。

□令和 4 年度気象庁気象科学館（東京都港区）の視察 気象や地震の観測機器や防災知識について学ぶことが できる装置などが展示されている気象庁の気象科学館 を視察しました。

- ・ 視察日 令和 4 年 11 月 2 日（水）
- ・ 場 所 気象庁気象科学館（東京都港区）



気象庁気象科学館見学の様子



●コラム●衣笠地運協構成団体紹介その2～横須賀市赤十字奉仕団衣笠分団～

衣笠地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら活動している赤十字のボランティア団体です。町内会、自治会から選ばれた役員から構成されています。

☆主な活動内容☆

- 赤十字活動資金の募集
- 献血推進活動
- 地域のイベントに救護班として参加
- 町内会自治会の防災訓練に参加
- 福祉施設への慰問
- 炊き出し、救急法の訓練
- 「分団まつり」の開催
(コロナ禍により3回中止)



献血推進活動の様子



←炊き出し訓練の様子

☆金子玲子 新分団長の思い☆

令和4年5月から衣笠分団の分団長を務めています。

衣笠分団は全国に先駆けて結成された75年の歴史のある赤十字の地域奉仕団です。

「すべての人々のしあわせをねがう」赤十字の精神のもと衣笠地域の方々に支えられてきた衣笠分団は、これからも地域に根ざした活動に積極的に取り組んでまいります。

●コラム●三浦大介義明公 ペーパークラフトについて

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で注目を集めている三浦一族の基礎を築いた四代目三浦大介義明公のペーパークラフトを制作しました。

当初はA4サイズでしたが、現在は、こどもたちにも作りやすいA3サイズに拡大して、衣笠行政センターなどで配布しています。



A3サイズは完成すると約20cmの高さになります



衣笠スカリン



本紙のご案内

地域住民が主体的に取り組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容を、地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。

衣笠地運協

